

# 平成29年度重点目標と達成計画

大阪医療福祉専門学校

平成29年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>職業実践専門課程における認定要件について、病院等と連携し、質の保証・向上に対してより効果的な先進的取組を推進を目指していく。</p>	<p>自己点検・評価委員会を設置し、各項目の設定、実施、報告を行う。                      学校関係者評価委員会を年1回実施し、自己点検・評価結果を客観的に確認評価する。                      教育課程編成委員会を年2回実施し、病院・施設と組織的な連携を確保し、授業科目等教育課程を編成する。                      学校概要・理念・目標・教育内容・学生支援等及び財務内容等、積極的な情報公開を実行する。                      &lt;具体的取組み&gt;                      ・病院等と連携体制を確保して、実習等を実施する。(病院等との連携による達成度評価を取り入れた実習等)                      ・病院等と連携体制を確保して、教員に対する研修を組織的に実施する。(病院等との連携による体系的な研修の構築)</p>
<p>学生募集目標達成(平成28年度目標:335名/実績:335名)</p>	<p>マーケット別広報等改善を図り募集目標335名を達成する。                      当年度募集目標の達成はもちろん、将来を見据えた信頼広報を展開する。特に卒業生、法人会員対象の業界推薦入試を実施し、尚一層業界との連携を図っていく。</p>
<p>退学率の低減を図る。(平成28年度 目標:4.0%/実績3.99%)</p>	<p>早期把握・対応に努め、保護者との連携を図っていく。高校との連携を密に入学前の状況も把握するとともに、学生カルテにより情報共有を図る。特に初年次対策に力をいれ、新入生研修を充実させる。                      全員が単に退学するか否かではなく、本人との面談を重ね、適性に合わせた進路変更に伴う転校転科も検討する。                      休学者及び長欠者に対するきめ細かなフォロー体制を確立する。</p>
<p>学費完納率目標達成(平成28年度目標:100%/実績:100%)</p>	<p>学費支援体制を強化し、個別対応の徹底を図り、全学生の学費納入を達成し、財務基盤の安定を図る。                      月一度学校責任者と学費担当者の学費ミーティングを実施し、未納者に対する現状確認と対策を検討していく。</p>
<p>国家試験取得率の一層の向上を図る。                      平成28年度新卒合格率(理学100%/全国平均96.3%)(作業98.6%/全国平均90.5%)(視能100%/全国平均96.7%)(言語89.7%/全国平均89.9%)</p>	<p>昨年度は全学科ともに、全国平均を大幅に上回る好成績であった。視能1年制・3年制が合格率100%を達成した。本年度については、全学科合格率100%を目指し、能力別個別対応の徹底を図っていく。また不合格の原因を分析し、対策を徹底し、本年度は全学科全員合格という目標達成を目指していく。</p>
<p>就職目標達成(平成28年度目標:100%/実績:100%)</p>	<p>開校以来、第一専門領域への就職100%を達成している。新規求人先開拓を実行し、求人数増加を図り、目標を達成する。</p>
<p>教員の更なる資質の向上を目指す。業界との一層の連携強化を図る。</p>	<p>社会情勢を把握し、業界の現況を見据えた人材育成に力を注ぎ、全教職員の更なるスキルアップを目指すべく指導・研修体制を構築する。</p>
<p>業務効率化を図る情報システム化を一層整備する。</p>	<p>SIP(学生カルテシステム)の一層の有効活用により学生情報を共有し、国家試験対策・就職活動等学生指導の徹底を図っていく。                      WLBに取り組み、教職員が仕事の見直しをし、無駄を省き、生産性をあげていく。</p>
<p>学生による授業評価の徹底を図る。</p>	<p>滋慶学園FD委員会、大阪医療福祉専門学校FD委員会で統一的に実施し、現状分析することにより、学生の満足度を高めるとともに、公開授業による専任教員の教育力・教授力向上を目指す。アクティブラーニングを取り入れていく。</p>
<p>卒業生の社会的活躍及び評価を把握するとともに、支援体制を強化する。</p>	<p>同窓会について、役員主導の運営による組織の確立を充実させ、表彰ポイント制度の導入により、役員としての運営貢献度、学術活動、社会貢献活動等を表彰し、より一層の活性化を図っていく。</p>
<p>施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通り実行する。</p>	<p>開校16年目となり、大規模な施設更新が必要となる。業者との連携を密に予算化を図り、効率的に実行していく。また備品に関しても、耐用年数の問題もあるが、整備点検を密に適切なメンテを行う必要がある。</p>

防災に対する体制を整備する。	有事の際の緊急連絡網の整備等かなり充実しているが、休日対応・夜間対応等様々なケースを想定した対応をマニュアル化する。 防災訓練については、地震・津波避難訓練、火災訓練を別途に行い、また防災週間を設定している。 現実的な避難訓練を実施するとともにAED講習を平成29年度も予定している。
----------------	--